



2022年2月8日

各 位

会社名 ジェイリース株式会社
代表者名 代表取締役社長兼会長 中島 拓
(コード番号：7187 東証第一部)
問合せ先 取締役専務兼専務執行役員
経営企画本部長 中島重治
(TEL. 03-5909-1245)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、最近の業績動向を踏まえ、2021年9月15日に公表いたしました連結業績予想及び配当予想を修正いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

2022年3月期連結業績予想値の修正（2021年4月1日～2022年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	9,000	1,660	1,630	1,060	119.72
今回修正予想 (B)	9,180	1,930	1,900	1,250	140.83
増減額 (B-A)	180	270	270	190	
増減率 (%)	2.0%	16.3%	16.6%	17.9%	
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	7,601	943	911	552	62.65

(修正の理由)

2022年3月期第3四半期の業績は、賃貸物件の流動性の向上及び不動産オーナーのリスク回避意識の高まりを背景とした事業用賃料保証の伸長がドライバーとなり、会社計画を上回って推移いたしました。主力の住居用賃料保証についても、新規出店や外部企業との提携による営業ネットワークの拡充、顧客ニーズに対応した商品ラインナップ強化等により、堅調に推移いたしました。事業用賃料保証と住居用賃料保証のクロスセルを通じた保証料単価の上昇も売上拡大に寄与いたしました。経費面においては、独自データベースを活用した与信審査の強化、入居者の状況を適切に把握しそれぞれの状況に応じた債権管理業務を引き続き実施した結果、与信コストの適切なコントロール、債権管理業務コストの削減が継続しております。その結果、第4四半期も業績は堅調に推移することを見込んでおります。

これらにより、前回公表した業績予想を再度上回る見込みとなりましたので、上記の通り、売上高、営業利益、経常利益及び親会社に帰属する当期純利益について業績予想を修正いたします。

当社は、日本社会における保証ニーズの裾野拡大を見据え、主力分野である住居用賃料保証、成長分野である事業用賃料保証に加えて、医療費保証を3本柱として成長投資を積極的に実施してまいります。業務拡大を通じ、時流に合わせた最適な事業ポートフォリオを構築することによって、中長期的な企業価値向上を図ってまいります。

2. 配当予想の修正について

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 (2021年9月15日発表)	円 銭 —	円 銭 15.00	円 銭 30.00
今回修正予想	—	25.00	40.00
当期実績	15.00		
前期実績 (2021年3月期)	0.00	5.00	5.00

(注) 2022年3月期の期末配当25円については、2022年5月開催予定の取締役会にて2022年6月開催予定の当社第19回定時株主総会に付議することを決議する予定であります。

当社の配当は、中間配当及び期末配当の年2回を基本方針とし、配当額については、配当性向20%程度を基準とし、株主還元と会社の成長を両立させていくことを基本方針としております。この方針に基づき業績見通しにあわせ、配当予想の上方修正を行うことといたしました。

(この修正により、配当性向は28.4%程度となります。)

(注) 上記の予想につきましては、本資料作成日現在で入手可能な情報に基づいて作成したものでありますが、今後の様々な要因により、予想とは異なる結果となる可能性があります。

以 上